



発行:日本労働組合総連合会鳥取県連合会  
発行人:田中 穂 編集人:金田 慎一  
住所:〒680-0847 鳥取市天神町30-5  
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615  
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp  
ホームページ:https://jtuc-tottori.jp

## 参議院選・米子市議選 推薦候補必勝へ団結!

### まずはぶちあたっていく!! —2022連合鳥取推薦議員団会議に結集—



田中穂連合鳥取会長(右上)のかけ声で「団結がんばろう!」を三唱

5月14日(土)、白兔会館に連合鳥取執行委員会メンバー25人と、湯原俊二衆議院議員ほか連合鳥取推薦議員20人が集い、来たる参議院選の活動に向けて心合わせを行いました。

主催者を代表して、連合鳥取の田中穂会長は、「第26回参院選比例代表9人、選挙区『村上たいじろう』および米子市議選3人、計13個のバラの花を咲かせる闘いを前進させよう」とあいさつしました。

続いて、推薦議員団を代表して浜田妙子県議会議員があいさつし、湯原俊二衆議院議員から国会活動報告がありました。

その後、連合政治センターの川島千裕事務局長を講師に「参議院選挙の取り組みについて」と題し、オンライン講演を受けました。「男性も含め、更年期障害などを発症した後も働き続けていくためにはどうしたらいいか」との西村みつこ県議の質問に対し、川島事務局長は、「芳野友子連合会長はすべての活動に『ジェンダー平等』を取り入れ取り組んでいる。病気発症後も働き続けていくためのサポート方法についてこれから検討していく」と回答しました。

連合鳥取の江口真也事務局長から「参議院選挙の取り組み状況」について説明の後、「村上たいじろうさん」の決意表明と、参加者との意見交換を行いました。

最後に、田中会長による「団結がんばろう!」で締めくくりました。

### —村上たいじろうさんに質問—

#### Q. 選挙戦を闘う上で訴えたいことは?

A. ①33歳の若さを武器に、広い鳥取・島根県を体力をフルに活用して走り回り、みなさんの声を聞いて、湯原衆議院議員のように国政に活かしていきたい。  
②2児の父親であり、「育児休暇」取得の経験から子育て・教育に対して強い思いがある。子育て世代に寄り添ってほしい。

#### Q. 育児休暇で感じたことは?

A. ①良かったことは、子どもと一緒にいられる時間が持て、一人でも家事・育児ができるようになったこと。妻と二人で子育てできるようになった。  
②復職後は、子どもの送り迎えに苦労した。妻が多忙のため帰宅が遅くなる時期があり、精神的に辛かった。過度な長時間労働を改めていかなければならないと強く感じた。



### —連合・川島事務局長オンライン講演より抜粋—

#### 1 連合の政治活動

- ①「労働組合の政治活動＝選挙運動」ではない。「政策実現活動」「政治教育活動」「組織強化活動」など様々な活動がある。
- ②「雇用保険の適用範囲の拡大や子ども手当の創設」「給付型奨学金制度の実現」など、連合の政策がこれまでに多数実現されている。

#### 2 連合の「政治方針」と「めざす社会像」

- ①政権与党との対峙を期待でき、政策を共有できる政党は「立憲民主党」と「国民民主党」である。

#### 3 連合「第26回参議院選挙の基本方針」

- ①連合の政策実現に向けて立憲民主党、国民民主党それぞれと引き続き連携を図り、人物重視・候補者本位で臨む。
- ②比例代表選挙/「わたしプラスもう1票」で、組織推薦の9人の当選をめざす。
- ③選挙区選挙/地方連合会と構成組織は協力し、最大限組織的に取り組む。

知ってほしいです！

# 村上たいじろう&比例区選挙9人の連合推薦候補者

— 東部・中部・西部地協「単組代表者会議」を開催 —

連合鳥取は「第26回参議院議員選挙・選挙区選挙」に「村上たいじろう」さんを推薦決定しています。新人の「村上たいじろう」さんの存在と、彼の決意・熱意を組合員のみなさんに知っていただくため、各地域協議会は「単組代表者会議」を開催し多くの組合員代表者に参加いただきました。

連合鳥取の田中穂会長や各地域協議会議長から「『働くことを軸とする安心社会』を実現するため、働く者・生活者の立場に立つ人を国会に送り出すことが大切」と労働組合が選挙運動に取り組む主旨の説明があり、その後、育児・教育、福祉・介護、交通、農業、地方財政、人口減少、危機管理などについて、村上さんと参加者が意見交換を行いながらお互いに理解を深めました。

比例区選挙に連合が推薦している9人の予定候補者も含め全員の当選をめざし、コンプライアンスを徹底しながら最大限の取り組みを進めていきましょう。

## 東部地協／70人参加



決意を述べる村上さん



参加者から質問



左から／江口連合鳥取事務局長、村尾昌彦東部地協議長、田中穂連合鳥取会長

5月13日(金)／とりぎん文化会館

## 中部地協／30人参加



盛山修中部地協議長



参加者からの質問に答える村上さん



参加者全員で「がんばろう！」

5月18日(水)／倉吉体育文化会館

## 西部地協／39人参加



木村幸宏西部地協議長



あいさつする村上さん



「がんばろう！」

5月19日(木)／国際ファミリープラザ

## おめでとう！ May Day『ワークルールクイズ』チャレンジ抽選会 & お楽しみ抽選会 で当選者決定！！

東部地域協議会主催で開催した「第93回東部地域メーデー大会」では、安心・安全を最優先したメーデーとしたため、後日、「May Day『ワークルールクイズ』チャレンジ抽選会」と「お楽しみ抽選会」を行うこととしていました。

5月19日(木)、連合鳥取事務所にて、東部地域協議会の村尾昌彦議長、土師佑太副議長、吉田正事務局長により厳選なる抽選で当選者が決まりました。みなさんおめでとうございます。

### ■May Day『ワークルールクイズ』チャレンジ抽選会

チャレンジされた181人の組合員の内、148人が5問中3問以上の正解をされました。今回は「第93回メーデー」なので、抽選対象者148人から93人を当選としました。

### ■お楽しみ抽選会

メーデー大会当日、参加されたみなさんにご記入いただいた「参加者確認票」を抽選券として、村尾議長と土師副議長が交互に抽選を行い、「メーデー賞(全国百貨店共通商品券5千円相当)6本」、「特別賞(ふるさと小包1万円相当)5本」、「議長賞(県内で使える旅行券4万円相当)1本」と連合鳥取構成組織の豪華な賞品が当たりました。



左から／土師副議長 村尾議長

☆議長賞	自治労(鳥取市社会福祉協議会労組)
☆特別賞	自治労(全国一般労組鳥取城北高校支部) 日教組(鳥取県教職員組合) 電機連合(FDK労組鳥取支部) 交通労連(日ノ丸西濃運輸労組) 運輸労連(山陰運送労組)

☆メーデー賞	自治労(鳥取市役所職員労組) 自治労(岩美町労連) 自治労(八頭町職員労組) 自治労(全国一般労組鳥取城北高校支部) 電機連合(一宮電機労組鳥取支部) 運輸労連(因伯通運労組)
--------	---

# 労働者自主福祉運動の「取り組み強化」と「運動継承の担い手育成(人財育成)」を求めて

—労働者福祉運動強化に向けた要請スタート—

鳥取県労働・福祉事業四団体運営協議会(連合鳥取、鳥取県労福協、中国労働金庫鳥取県営業本部、こくみん共済coop鳥取推進本部)は、協同組合や労働者福祉事業の意義や役割、労働組合との関係を「ともに運動する主体」と再確認し、運動を前進させる一助となるよう、各産別のみなさんに直接、労働者福祉運動強化に向けた要請をスタートしました。

コロナ禍において「今こそ、労福協の力を。」を合言葉に実施する全国福祉強化キャンペーン、ろうきん「家計の見直し運動」、こくみん共済coop「こどもの健全育成をめざす社会活動等」を通じ、労働組合と労福協各支部、連合鳥取と各地域協議会、中国労金各支店、こくみん共済coop各支所とのさらなる連携および利用促進の強化を要請するため、5月17日(火)の電力総連を皮切りに、18日(水)にかけ17産別を訪問しました。



電力総連



JR連合



運輸労連



全水道



フード連合

## <要請者>

鳥取県労働者福祉協議会  
 本川博孝理事長  
 中国労働金庫鳥取県営業本部  
 西村裕生本部長  
 こくみん共済鳥取推進本部  
 松崎浩哉本部長  
 連合鳥取 田中 穂会長

※写真は産別の代表者に要請書を手交する様子



JAM



交通労連



自治労



情報労連



日教組



電機連合



全国農団労

- 事前に手渡した産別
- ・UAゼンセン
- ・JP労組
- ・紙パ連合
- ・自動車総連
- ・私鉄総連

## 中部地協発／社会貢献活動「北条海岸清掃」を実施

中部地域協議会は、今年も5月21日(土)に北条海岸清掃活動を実施しました。この活動は、自然環境保全の取り組みと、「顔の見える地協活動」の取り組みを兼ねて行って実施しているものです。

集合場所の北条オートキャンプ場 には、20単組から子どもを含む52人の参加をいただきました。

開催にあたり梅津浩治副議長から「環境保全の取り組みに対する意義と参加者へのお礼」のあいさつの後、実施にあたっての諸注意の伝達・記念撮影を行い、清掃活動に入りました。

風も穏やかで薄曇りの程よい気温の中での清掃活動でした。参加者からは「今日のような天気でメーデーを迎えたかった」との声も聞かれましたが、熱心な取り組みにより1時間ほどで70L入りのゴミ袋で燃えるゴミ24袋、燃えないゴミ2袋、古タイヤなどゴミ袋に入らない大型ごみ12点が回収されました。回収されたゴミの多くは海洋環境の問題になっているペットボトルや発泡スチロールなどでした。風で押し上げられたのでしょうか、防風垣の根本など奥深いところでも多くのゴミが回収されました。今後も継続的な取り組みが必要だと感じました。

例年であれば清掃活動の後にバーベキューで懇親を図っていましたが、感染対策から取りやめし、かわりに参加者全員に飲み物と大山乳業のお菓子セットのお土産を配り閉会となりました。

今後も中部地協が実施する社会貢献活動へのご理解と積極的なご参画をよろしくお願いします。



## Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

### ピーグカットアクション夏

職場やテレワークでできるところから

- OA機器
- 空調 暑さ対策
- 照明 明るさ
- エレベーター
- トイレ
- 冷蔵庫 (自動販売機)

詳しくはコチラ

日本労働組合総連合会(連合)

### あなたの周りで悩んでいる人、困っている人いませんか？

ぜひご紹介ください

2022年6月7日(水)～8日(木) 10:00～19:00

日本労働組合総連合会(連合)

## 女性のための 連合全国一斉 労働相談ホットライン

仕事で悩むあなたを 応援します!!

相談無料 秘密厳守 携帯・スマホOK

パワハラ・セクハラ 解雇・雇止め

フリーダイヤル いこうよ れんごうに

# 0120-154-052

※男性からの相談も受けつけます。

## “ザ・議員”

おき はる ひ で お

### 興治 英夫

鳥取県議会議員

昨年の私の県議会質問で実現できたことの中から、いくつかお知らせします。

- ① コロナ禍でオンライン授業やリモートワークが増えて、県内全域で光ファイバー網を整備する必要があります。しかし倉吉市の西側エリアだけが未整備のまま残っており、昨年の代表質問でこのことを取り上げました。鳥取県及び倉吉市の令和4年度補正予算に、国の補助金、コロナ交付金、県の補助金を活用して、事業費が計上されることになりました。
- ② コロナ禍で職を失って生活に困窮し、食料を十分に確保できない人たちがいますが、生活困窮者支援事業の中では食糧支援ができないこととなっています。そこで食糧支援の仕組みを作ること、また就労支援について、県立ハローワークもかかわって、よりきめ細かい支援を行うことを求めました。鳥取県の令和4年度当初予算及び5月補正予算で、子ども食堂への食料提供システムを活用し、生活困窮者へも食糧支援を実施する仕組みが作られること、また県立ハローワークに、生活困窮者の生活支援窓口が開設されることとなりました。



村止たいじろう氏(左)と遊説が終わり事務所前で

か つ た せん じ

### 勝田 鮮二

鳥取市議会議員

常日頃より組合員のみなさんには、大変お世話になっております。みなさんから頂いた多くの意見を、市政に反映するため、日々頑張っています。


<令和4年2月定例会:会派を代表して、11項目質問>

- ①財政 ②誰一人取り残さない包摂のまちづくり
- ③新型コロナに関連して ④デジタル化の推進に関連して
- ⑤中心市街地活性化 ⑥新市域の振興
- ⑦工業団地の整備 ⑧企業誘致 ⑨除雪に関連して
- ⑩学校に関連して ⑪病院経営に関連して

⑨について市長、執行部に見解を求めました

少子高齢化が進み、除雪対応に困っている地域より、高齢世帯・空き家が増え、除雪に限界がある!と多くの声を聞く。このような地域は、ますます増えていくものと考えます。そこで今後、除雪路線の見直しが必要と思う!

【市長答弁】大型特殊などの免許取得の補助、除雪機械の固定費支払いなどの制度改善により、委託業者数や機械保有数が増加している。来年度、除雪路線を選定し直す作業に着手したい。



2月定例会

## 50年先の未来

50年先の事である。1972年、日本とセネガルの共同提案により国連総会で6月5日を「世界環境デー」と定めた。日本では「環境基本法(平成5年)」で「環境の日」を定めたいらしい。▼日本では毎年6月の一ヶ月間を「環境月間」とし、鳥取県においては「ラムサール条約湿地 中海・宍道湖一斉清掃」や「鳥取砂丘ボランティア除草」「オオキケンケイグク駆除」などの行事・事業が行われている。みなさんも自治体の一斉清掃やボランティア活動などに参加されていることと思うが、現代の多くの環境問題は人間の経済活動が自然界に何らかの環境負荷をかけることによって発生するといわれている。▼近年はレジ袋の有料化によってマイバッグを持つ人も多く見かけるようになった。地球環境をこれ以上「悪化させたくない」「子どもや孫のためにも」と思うのは私だけではないと思う。この「世界環境デー」を機に、一人ひとりが環境問題を考えるきっかけと、何か一つ行動に移せるきっかけになればと願うばかりである。

(マイバッグをよく忘れるオジサン)

